

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	令和2・3年度	事業者名	NPO 法人環境サステナブルリサーチラボ
補助事業名	<p>令和2年度：Mg 酸化物添加材を用いる侵略的外来水生植物の新規繁茂抑制技術の開発</p> <p>令和3年度：侵略的外来水生植物の刈り取り除去後の Mg 酸化物添加処理による繁茂抑制手法の開発</p>		
補助事業結果概要	<p>水草の水中根の減少と生育必須元素濃度の減少を見出した Mg 酸化物散布材について、寒天培地により栄養条件をコントロールした実験系を確立し、侵略的水生植物であるナガエツルノゲイトウに対してその繁茂抑制効果を検証したところ、茎芽や根の生育を抑制する効果を再確認することができた。以上の結果から、琵琶湖などの大規模繁殖現場では、機械的駆除の後に Mg 酸化物を散布することにより、断片の定着を防ぐことができると考えられた。</p>		
本年度（令和4年度）の状況 ・技術開発等の状況を含む	<p>フィールドにおいても Mg 酸化物の添加によるナガエツルノゲイトウの繁茂抑制効果を検証するため、千葉県印旛沼などにおける現地試験の可能性を調査した。具体的には、農研機構などに連絡を取り、現地試験の可能性について討議した。しかしながら、コロナの影響により現地試験を実施できる状況ではなく、引き続き可能性を探っているところである。</p>		
備考			

注意：当該資料は PDF 化し、HP で公表を予定しています。

企業秘密等、公表されることで、不利益となること等は記載しないでください。

記入例

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	平成 年度	事業者名	株式会社〇〇〇〇
補助事業名	水草の短期間堆肥化および水草繁茂抑制技術の開発		
補助事業結果概要（※）	<ul style="list-style-type: none">・ 6 か月間での堆肥化に成功した。 また、堆肥の成分を分析したところ、市販品と比較して高い肥料成分が含まれていることが判明した。・ 水槽実験により、薬剤による水草の繁茂抑制について試験をおこなったところ、効果が認められなかった。		
本年度（令和元年度）の状況 ・ 技術開発等の状況を含む	<ul style="list-style-type: none">・ 短期間で作成した堆肥について、所有する畑で栽培の実証実験を行った。 市販品の堆肥と比較して、高い効果が得られた。 今後は、施設の拡大による生産量の増加および市場調査の実施にを予定している。・ 水草繁茂抑制技術の開発については、補助事業の結果をもとに、さらなる技術開発に向けて社内で検討中である。		
備考			

※補助事業結果については、実績報告書にて報告をいただいておりますが、結果を公表するにあたり、改めてお伺いしています。

企業秘密等、公表されることで、不利益となること等は記載しないでください。